

防衛大臣の即刻辞任を求める

2017年3月15日

原水爆禁止大阪府協議会

理事長 岩田 幸雄

大阪の地で「核兵器をなくし、被爆者の援護・連帯の活動」を行っている59年の歴史を持つ平和団体です。

貴殿の今までの「南スーダンの日報問題」、国会答弁の「戦闘」を「衝突」と言いくるめる姿勢、事実を隠ぺいし、自衛隊員の命そのものをもて遊ぶことは決して許されない暴挙です。突如「自衛隊を5月に撤収する」宣言は、私たちが指摘してきたとおり、南スーダンは緊迫した戦闘状態にあることを明白に物語るものです。

そして世論沸騰の「森友学園問題」での虚偽答弁など、大臣としての資質に欠ける政治姿勢であり、私たちは断固、「辞任」を求めるものです。多くの弁護士も「出廷したかどうかは、時間がたてば分からなくなることがありますが、依頼者の名前は覚えているものです」と、答えてくれました。貴殿は、当初から「関わっていたことを覚えておきながら、虚偽の答弁をした」ことは、明らかであり、決して許されない大臣の姿です。今、国民の8割が「この問題で政府が納得できるように答えていない」と、各新聞社の世論調査で答えています。「納得」できないばかりでなく、「虚偽の答弁」をしたことに、私たちは断固、抗議するものです。

また、憲法を最も遵守する立場にある大臣とも思えない発言を続けています。「教育勅語」は、家族の大切さを説いたものではなく、「一旦、戦争状態になれば、天皇に命をささげる」というものであり、1948年に国会で「破棄宣言」したものです。憲法・教育基本法を守ろうとしない、防衛大臣はただちに辞任することを、強く求めるものです。